

2027年度
帝塚山学院大学大学院

入学試験要項

TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

人間科学研究科

■ 人間科学専攻(修士課程)

【一般入試】

■ 臨床心理学専攻(専門職学位課程)

【一般入試・社会人入試】

【お問い合わせ】 アドミッションセンター

〒590-0113 大阪府堺市南区晴美台4-2-2
TEL.072-290-0652 FAX.072-296-4141 E-mail : soumu-ny@tezukayama.ac.jp
<https://www.tezuka-gu.ac.jp/nyushi/>



アドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)

目 次

アドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)	1
情報公表	1
人間科学専攻(修士課程)一般入試	2
臨床心理学専攻(専門職学位課程)一般入試	4
臨床心理学専攻(専門職学位課程)社会人入試	6
インターネット出願について	8
受験・試験会場・合格発表について	10
入学手続・学費等	12
授業科目(人間科学専攻)	14
授業科目(臨床心理学専攻)	17
臨床心理学専攻の資格取得	20

人間科学専攻 健康科学コース

- ①幅広い視野をもつ判断力と応用力を備え、探究心があること。
- ②食物・栄養・運動・心理の知識と技術を活かして、人間の健康的な生活づくり及びより良い社会の実現に関心があること。

人間科学専攻 情報・認知科学コース

- ①情報メディアと心理学の融合に関心を持ち、人の心のはたらきを科学的かつ創造的に理解しようとする探究心があること。
- ②テクノロジーと表現を結び付け、新たな社会的価値を創出し、研究成果を社会に還元しようとする意欲に関心があること。

臨床心理学専攻

- ①幅広い教養と向上心を常に持ち、厳しい心理臨床の修練を乗り越えていく力があること。
- ②社会人としての良識と対人援助を行う専門家としての倫理意識が高いこと。
- ③人間に対する深い関心と理解力を持ち、安定した思考力と対人関係能力を維持できること。
- ④臨床心理学の実践活動家としての高度専門職業人(臨床心理士・公認心理師)をめざす明確な意欲があること。

情報公表

学校教育法施行規則第172条の2に基づき、教育研究活動等の状況について大学ホームページ「情報公開」にて公表しています。

<https://www.tezuka-gu.ac.jp/about/disclosure/>

人間科学専攻(修士課程)一般入試

募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
人間科学研究科	人間科学専攻(修士課程)	I期募集 10名 II期募集 若干名

*この専攻の受験により入学した者は、大学院修了後に臨床心理士資格認定試験及び公認心理師試験の受験資格を取得することはできません。

出願資格

下記(1)～(8)までのいずれかの要件に該当する者。

- 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者、または2027年3月卒業見込みの者。
- 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者。
- 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年3月までに修了見込みの者。
- 外国の大学、その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。
- 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- 文部科学大臣の指定した者。
- 大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本大学院が認めた者。
- 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳(2027年4月1日現在)に達した者。

出願前の事前相談(必須)

原則として、事前に、研究計画について研究に関連する本研究科の教員と相談することが必要です。教員の選定については、仮の研究計画書(書式は自由。300～400字)を添付して、出願開始日1ヶ月前までに、アドミッションセンターにメールで問合せください。<問合せ先> アドミッションセンター: soumu-ny@tezukayama.ac.jp

入試日程

注意事項 インターネット出願による出願登録は出願締切日の15:00まで、出願必要書類の提出は出願締切日の消印有効。

日程	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	入学手続締切日
I期	2026年 8月18日(火)～9月1日(火)	9月6日(日)	本学	9月11日(金)	10月9日(金)
II期	2027年 1月18日(月)～2月2日(火)	2月7日(日)	本学	2月12日(金)	3月5日(金)

*定員充足状況により、II期入試を実施しない場合があります。

*II期入試の実施の有無につきましては、11月下旬ごろに大学院入試のホームページにてお知らせします。

選抜方法

以下に基づき総合的に判定します。

- 筆記試験(外国語)
- 筆記試験(専門に関する論述試験)
- 面接試験
- 研究計画書(作成要領は、出願必要書類の項を参照)

入試科目・時間

時間	10:00～11:20	11:50～13:10	14:10～(15分程度)
入試科目	外国語 (英語)	専門に関する論述試験	面接

配点

外国語科目	専門科目	面接	合計
100点	100点	20点	220点

*外国語の筆記試験時は、英和辞書の持ち込み・使用を認めます。ただし、電子辞書、専門用語辞典等を除きます。

出願方法 ※詳細は「インターネット出願」(P. 8)をご確認ください。

インターネット出願登録を行い、入学検定料を納めた後、市販の角2封筒に出願必要書類を入れ、簡易書留速達郵便でお送りください。(出願締切日消印有効)

出願必要書類

*出願必要書類は流用できません。

*各種証明書は、原則、2026年4月以降に発行されたものに限ります。

①Web志願票(入学検定料支払後、インターネット出願サイトより、ダウンロードして印刷してください。)

●顔写真データについて

- ・出願前3ヶ月以内に撮影したもので、上半身、脱帽、正面向きのもの。
- ・背景は無地として、白、青、またはグレーの壁で撮影してください。
- ・画像データは100KB～3MBまでのjpeg形式で作成してください。
- ・個人が特定しづらいものは使用できません。

②卒業証明書又は卒業見込証明書(大学卒業以外の資格での志願者は、その資格を確認できる書類)

③成績証明書(出身大学等が作成し、厳封したもの)
(大学卒業以外の資格での志願者は、その成績を確認できる書類)

④研究計画書

下記の1～3の内容を含んだものをA4用紙2枚(手書きの場合は5枚)、2,000字程度にまとめて作成してください。

- 志望する研究テーマ
- これまでの学習内容について
- 関心のある研究領域について

●研究計画書は以下の要領で作成すること

・用紙右上に氏名を記入の上、必ずページ数を下段右端に付し、用紙左上をホッチキスでとめること。

<パソコンで作成する場合>

用紙は縦長A4サイズ用紙に、黒で印字すること。

書式は横書き1行45字以内で作成すること。

<手書きの場合>

用紙は市販の400字詰め縦長原稿用紙(A4サイズ)に、黒のペンで横書きとする。

⑤戸籍抄本(改姓・改名者のみ)

証明書に記載されている氏名から改姓・改名した場合は提出してください。

入学検定料

30,000円

インターネット出願登録時に、コンビニエンスストア(現金支払)またはクレジットカード決済が選択できます。

病気・負傷・障がい等がある場合の出願について

P.10をご確認ください。

臨床心理学専攻(専門職学位課程)一般入試

募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
人間科学研究科	臨床心理学専攻(専門職学位課程)	I期募集 20名 II期募集 若干名

出願資格

下記(1)～(8)までのいずれかの要件に該当する者。

- (1)学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者、または2027年3月卒業見込みの者。
- (2)学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者。
- (3)外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年3月までに修了見込みの者。
- (4)外国の大学、その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。
- (5)専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- (6)文部科学大臣の指定した者。
- (7)大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本大学院が認めた者。
- (8)本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳(2027年4月1日現在)に達した者。

入試日程

注意事項 インターネット出願による出願登録は出願締切日の15:00まで、出願必要書類の提出は出願締切日の消印有効。

日程	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	入学手続き締切日
I期	2026年 8月18日(火)～9月1日(火)	9月6日(日)	本学	9月11日(金)	10月9日(金)
II期	2027年 1月18日(月)～2月2日(火)	2月7日(日)	本学	2月12日(金)	3月5日(金)

*定員充足状況により、II期入試を実施しない場合があります。

*II期入試の実施の有無につきましては、11月下旬ごろに大学院入試のホームページにてお知らせします。

選抜方法

以下に基づき総合的に判定します。

- 筆記試験(外国語)
- 筆記試験(臨床心理学に関する専門知識)
- 面接試験
- 事前レポート(作成要領は出願必要書類の項を参照)

「心理臨床実践への自らの課題について」(800～1000字)

*本専攻のカリキュラムを十分に遂行できる基礎学力、能力が認められない場合には、定員内であっても不合格とすることがあります。また、臨床心理士・公認心理師に必要なコミュニケーション能力も重視されます。

入試科目・時間

時間	10:00～11:20	11:50～13:10	14:10～(15分程度)
入試科目	外国語 (英語)	臨床心理学に関する専門知識 (一部基礎心理学も含む)	面接

配点

外国語科目	専門科目	合計
100点	200点	300点

*外国語科目については、みなし得点制度があります。

*外国語の筆記試験時、本学指定の辞書を貸し出します。

英語における外部試験のみなし得点利用について

英語外部試験の資格・スコアを下記の基準に従い、「外国語(英語)」筆記試験の得点として換算します。「みなし得点」を利用する場合、「外国語(英語)」筆記試験を免除し、「みなし得点」の得点を取得したものとします。「みなし得点」を利用した上で、「外国語(英語)」筆記試験を受験した場合は、得点の高い方を合否判定に使用します。

対象英語資格・検定試験スコア

みなし得点	実用英語技能検定(英検)	英検S-CBT	TOEIC® L&R [IP不可]
90点	1級	該当なし(実施級がない為)	900～
70点	準1級	準1級	730～895
60点	2級	2級	550～725

[条件]

- ・出願開始日より遡って2年以内に受験していること。
- ・出願時に、合格証やスコアを証明する書類のコピーを出願期間内(出願締切日の消印有効)に必ず提出すること。再出願の場合も、再度提出してください。

出願方法 ※詳細は「インターネット出願」(P.8)をご確認ください。

インターネット出願登録を行い、入学検定料を納めた後、市販の角2封筒に出願必要書類を入れ、簡易書留速達郵便でお送りください。(出願締切日消印有効)

出願必要書類

*出願必要書類は流用できません。

*各種証明書は、原則、2026年4月以降に発行されたものに限りません。

①Web志願票(入学検定料支払後、インターネット出願サイトより、ダウンロードして印刷してください。)

●顔写真データについて

- ・出願前3ヶ月以内に撮影したもので、上半身、脱帽、正面向きのもの。
- ・背景は無地として、白、青、またはグレーの壁で撮影してください。
- ・画像データは100KB～3MBまでのjpeg形式で作成してください。
- ・個人が特定しづらいものは使用できません。

②卒業証明書又は卒業見込証明書(大学卒業以外の資格での志願者は、その資格を確認できる書類)

③成績証明書(出身大学等が作成し、厳封したもの)
(大学卒業以外の資格での志願者は、その成績を確認できる書類)

④事前レポート(下記の内容についてご提出ください。)

「心理臨床実践への自らの課題について」(800～1,000字)

●レポートは以下の要領で作成すること

- ・用紙右上に氏名を記入の上、必ずページ数を下段右端に付し、用紙左上をホッチキスでとめること。

〈パソコンで作成する場合〉

用紙は縦長A4サイズ用紙に、黒で印字すること。

書式は横書き1行45字以内で作成すること。

〈手書きの場合〉

用紙は市販の400字詰め縦長原稿用紙(A4サイズ)に、黒のペンで横書きとする。

⑤戸籍抄本(改姓・改名者のみ)

証明書に記載されている氏名から改姓・改名した場合は提出してください。

入学検定料

30,000円

インターネット出願登録時に、コンビニエンスストア(現金支払)またはクレジットカード決済が選択できます。

病気・負傷・障がい等がある方の出願について

P.10をご確認ください。

臨床心理学専攻(専門職学位課程)社会人入試

募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
人間科学研究科	臨床心理学専攻(専門職学位課程)	I期募集 II期募集 } 若干名

出願資格

下記(1)～(2)までのいずれかの要件に該当する者。*出願開始日1ヶ月前までにアドミッションセンターまで必ずお問い合わせください。

- (1) 出願時まで4年制大学卒業後、社会福祉施設、医療機関、教育・研究機関、国および地方公共団体のいずれかにおいて3年以上の対人支援の就業経験を有する者。
- (2) 本学大学院において、上記(1)の出願資格に準ずるものとして認められた者。

入試日程

注意事項 インターネット出願による出願登録は出願締切日の15:00まで、出願必要書類の提出は出願締切日の消印有効。

日程	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	入学手続締切日
I期	2026年 8月18日(火)～9月1日(火)	9月6日(日)	本学	9月11日(金)	10月9日(金)
II期	2027年 1月18日(月)～2月2日(火)	2月7日(日)	本学	2月12日(金)	3月5日(金)

*定員充足状況により、II期入試を実施しない場合があります。

*II期入試の実施の有無につきましては、11月下旬ごろに大学院入試のホームページにてお知らせします。

選抜方法

以下に基づき総合的に判定します。

ア. 筆記試験(臨床心理学に関する専門知識) *外国語試験は免除されます。

イ. 面接試験

ウ. 事前レポート(作成要領は、出願必要書類の項を参照)

- 1.「これまでの職務内容と対人支援業務の経験について」(1,000字程度)
- 2.「本学専門職大学院志望の動機と将来の目標について」(1,000字程度)

*本専攻のカリキュラムを十分に遂行できる基礎学力、能力が認められない場合には、定員内であっても不合格とすることがあります。
また、臨床心理士・公認心理師に必要なコミュニケーション能力も重視されます。

入試科目・時間

時間	10:00～11:20(15分程度)	11:50～13:10
入試科目	面接	臨床心理学に関する専門知識 (一部基礎心理学も含む)

配点

専門科目
200点

出願方法

*詳細は「インターネット出願」(P. 8)をご確認ください。

インターネット出願登録を行い、入学検定料を納めた後、市販の角2封筒に出願必要書類を入れ、簡易書留速達郵便でお送りください。(出願締切日消印有効)

出願必要書類

*出願必要書類は流用できません。

*各種証明書は、原則、2026年4月以降に発行されたものに限りです。

①Web志願票(入学検定料支払後、インターネット出願サイトより、ダウンロードして印刷してください。)

●顔写真データについて

- ・出願前3ヶ月以内に撮影したもので、上半身、脱帽、正面向きのもの。
- ・背景は無地として、白、青、またはグレーの壁で撮影してください。
- ・画像データは100KB～3MBまでのjpeg形式で作成してください。
- ・個人が特定しづらいものは使用できません。

②卒業証明書又は卒業見込証明書(大学卒業以外の資格での志願者は、その資格を確認できる書類)

③成績証明書(出身大学等が作成し、厳封したもの)
(大学卒業以外の資格での志願者は、その成績を確認できる書類)

④在職証明書(期間ごとに職種が記載されているものが望ましい)

⑤事前レポート(1、2の内容についてご提出ください。)

- 1.「これまでの職務内容と対人支援業務の経験について」(1,000字程度)
- 2.「本学専門職大学院志望の動機と将来の目標について」(1,000字程度)

●レポートは以下の要領で作成すること

- ・用紙右上に氏名を記入の上、必ずページ数を下段右端に付し、用紙左上をホッチキスでとめること。

〈パソコンで作成する場合〉

用紙は縦長A4サイズ用紙に、黒で印字すること。

書式は横書き1行45字以内で作成すること。

〈手書きの場合〉

用紙は市販の400字詰め縦長原稿用紙(A4サイズ)に、黒のペンで横書きとする。

⑥戸籍抄本(改姓・改名者のみ)

証明書に記載されている氏名から改姓・改名した場合は提出してください。

入学検定料

30,000円

インターネット出願登録時に、コンビニエンスストア(現金支払)またはクレジットカード決済が選択できます。

病気・負傷・障がい等がある場合の出願について

P.10をご確認ください。

インターネット出願について



出願期間中は大学窓口でパソコンを使つての出願登録も可能です。

【受付時間】10:00~16:00

※土・日・祝および夏期・冬期休暇中は除きます。※事前連絡のうえお越しください。

インターネット環境

出力する書類がありますので、プリンターをご用意ください。

PCブラウザ	【Windows】Microsoft Edge(最新バージョン) Google Chrome(最新バージョン) Firefox(最新バージョン) 【Mac OS】Safari(最新バージョン)	※セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。セキュリティソフトに関する設定方法については、セキュリティソフトのマニュアルを確認するか、各セキュリティソフトメーカーのサポートセンターにお問い合わせください。
スマートフォン・タブレット	【Android】Android 14.0以上:Android Chrome(最新バージョン) 【iOS】iOS 17.0以上:Safari(最新バージョン)	
PDF推奨環境	アドビシステムズ社のAdobe Reader(無償)が必要です。既にAdobe Readerをお持ちの方もバージョンを確認し、最新版にアップデートされることを推奨します。	

- メールアドレスについて ユーザー登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール(Gmail やYahoo! メールなど)や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン(@tezuka-gu.ac.jp, @tezukayama.ac.jp, @postanet.jp)を受信指定してください。出願登録完了時・入学検定料支払い完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。
- ブラウザについて どのウェブブラウザでも、右記の設定を行ってください。 ・JavaScriptを有効にする。 ・Cookieを有効にする。

インターネット出願の流れ

STEP1~7を、すべて出願期間内に行うことによって、出願が完了したことになります。出願登録だけでは出願になりません。

STEP 1 出願必要書類の準備

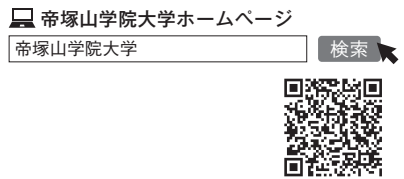
出願必要書類には発行までに時間がかかるものもありますので、早めにご準備ください。

成績証明書 卒業(見込)証明書 顔写真データ etc.

出願必要書類は入試区分ごとに異なります。

STEP 2 アカウント作成 (初回のみ)

- 帝塚山学院大学 受験生向けサイトにアクセス。
- 「インターネット出願」をクリックしてPost@net
https://home.postanet.jp/PortalPublic/Identity/Account/Login?gkcd=012225を開きます。
- Post@netのログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。
- 利用規約に同意した後、メールアドレス・パスワードなど必要項目を入力して「登録」ボタンをクリック。
- 入力したメールアドレス宛てに、仮登録メールが届きます。
- 仮登録メールの受信から60分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。



STEP 3 ログイン

- メールアドレス・パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックすると、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。
- 「学校一覧」から「帝塚山学院大学」を検索し、お気に入り学校の登録をしてください。

STEP 4 出願登録

「出願登録」ボタンをクリック後、画面の指示に従って登録してください。



- JIS第1水準および第2水準以外の文字は入力できません。氏名や住所の漢字が入力できない、もしくはエラーになる場合は、代替の文字を入力してください。
- 出願した内容および、お支払い方法の画面を印刷しておくことをおすすめします。
- 支払方法選択後、入学検定料のお支払いに必要な番号が表示されます。必ず番号をメモしてください。

※スマートフォン・タブレットで出願登録をした方は、スクリーンショット等で登録画面を保存しておくことをおすすめします。

- 注意**
- 入学検定料のお支払い完了後の変更は一切できません。
 - 入学検定料のお支払い前に誤りに気づいた場合は、入学検定料を納入せずに新たに登録を行ってください。
 - ※支払期限までに入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報は自動的に無効となります。

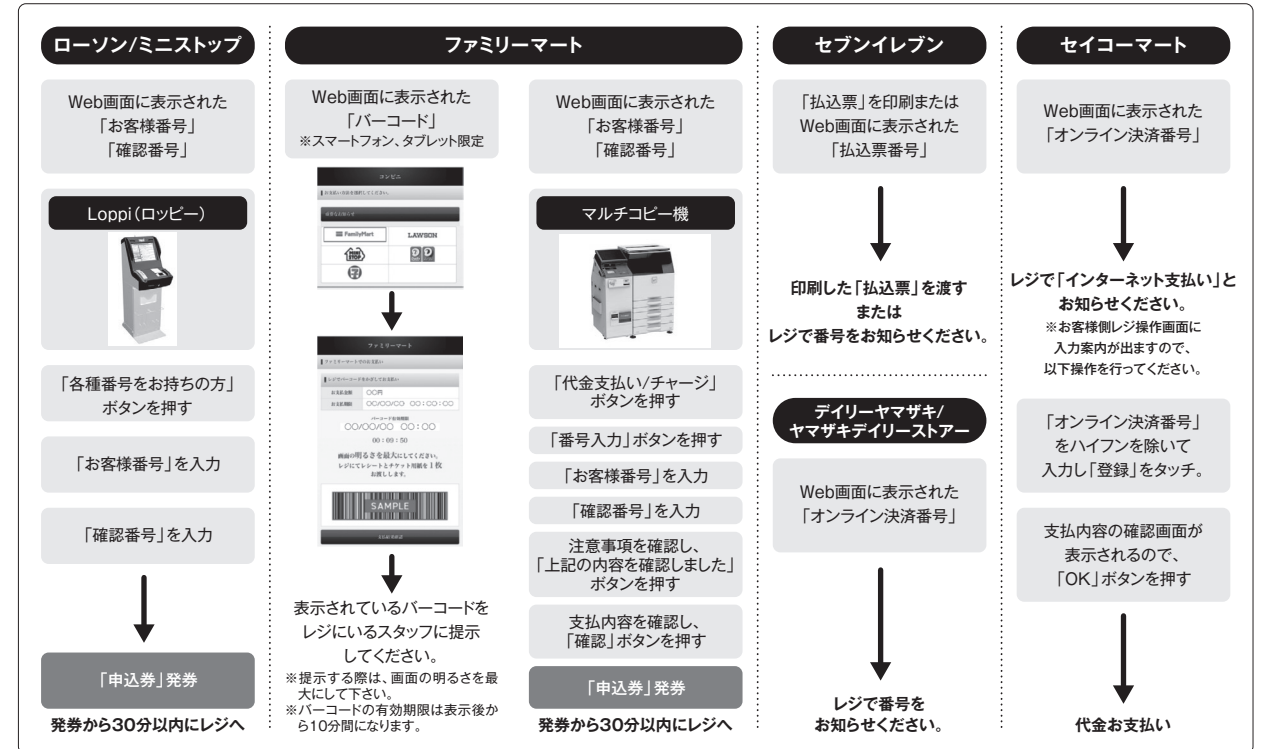
STEP 5 入学検定料を支払う



コンビニエンスストア(現金支払)またはクレジットカード決済が選択できます。お支払い方法の詳細については、インターネット出願画面の「入学検定料の支払方法について」を参照してください。入学検定料の他に手数料が必要です。一度、お支払いされた入学検定料は返金できません。

- 注意** 出願登録した翌日の23:59まで(出願締切日に出願登録した場合は当日の23:59まで)に入学検定料をお支払いください。支払い期限を過ぎると、登録された内容での入学検定料支払いができなくなります。また、入力された情報は自動的に無効となります。

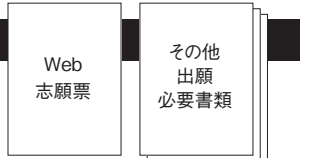
- ①コンビニ店頭端末の操作 ※下記操作手順は一部省略されています。実際の画面の案内に従って操作してください。
※下記操作手順が変更となる場合があります。操作方法については、Post@netにログインし、「はじめに」ページにてご確認ください。



- ②お支払い レジでお支払いください。(領収書等は個人控えですので、大切に保管してください[提出不要]。)
- ▶ 入学検定料の他に、手数料が必要です。
 - ▶ お支払い金額が5万円以上の場合、別途事務手数料が必要です。
 - ▶ 一度お支払いされた入学検定料は、返金できません。
 - ▶ 支払期限までに入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報は自動的に無効となります。

STEP 6 Web志願票・封筒貼付用宛名シートを印刷

Post@netへログインし「出願内容一覧」より帝塚山学院大学の「出願内容を確認」を選択し「Web志願票ダウンロード」、「封筒貼付用宛名シートダウンロード」をクリックして、PDFファイルをダウンロードします。PDFファイルはページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。※写真承認を待つ必要はありません



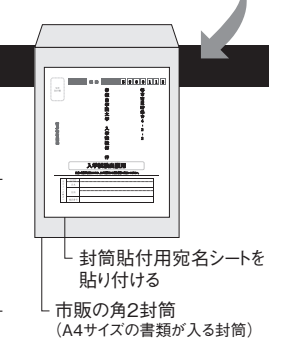
STEP 7 出願必要書類の郵送(出願締切日消印有効)

印刷したWeb志願票などの出願必要書類を同封して、市販の角2封筒(A4サイズの書類が入る封筒)に入れ、簡易書留速達で郵便局窓口から郵送してください。

封筒貼付用宛名シートの出力ができない場合は、右記の宛先にお送りください。
郵便番号・住所・氏名を記入して出願必要書類を右記の送付先に簡易書留・速達で郵送してください。

〒590-0113
大阪府堺市南区晴美台4-2-2
帝塚山学院大学 入学試験係
入試出願書類在中

※書類の郵送が間に合わない場合は、持参してください。(要事前連絡) (受付時間)10:00~16:00(※土・日・祝および夏期・冬期休暇中は除きます。)



STEP 8 受験票を印刷

試験日の2日前までに受験票ダウンロードの案内メールをお送りしますので、ダウンロード・印刷してください。受験票の郵送はしません。出願必要書類の提出がない方の受験票は無効となります。Post@netへログインし「出願内容一覧」より帝塚山学院大学の「出願内容を確認」を選択し「受験票ダウンロード」をクリックして、ダウンロードします。PDFファイルをページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。試験当日に必ず受験票を持参してください。

- 注意** 受験票のダウンロードが試験日の2日前になってもできない場合はご連絡ください。

受験・試験会場・合格発表について

■入学試験に関する注意

- ①受験票に記載の「試験に関する注意」を必ずご確認ください。
- ②入学試験当日、受験票は必ず持参し、試験中は試験監督の指示に従って提示してください。忘れたり、紛失した場合等は直ちに入試係員まで申し出たうえ、再発行手続を行ってください。
- ③入学試験当日は学内の掲示をよく見て試験会場等を確認のうえ、間違いのないようにしてください。
- ④試験開始15分前までに指定された席に着席してください。
- ⑤試験開始後は原則として退出できません。
- ⑥遅刻した場合は入試係員の指示に従ってください。ただし試験開始後30分以上遅刻した場合は原則として受験できません。
- ⑦筆記用具は必ず鉛筆を使用してください。(ボールペンやインク使用の筆記用具は使用できません。)
- ⑧時計は、時計機能だけの腕時計のみ認めます。(辞書機能、通信機能付、スマートウォッチ等は不可)
※アラーム機能は必ず止めておいてください。
- ⑨携帯電話・スマートフォンは試験中、机に出すことはできません。アラーム設定を解除し、電源を切って鞆等に収納したうえで受験してください。(時計の代わりに使用することも禁止です。)

■受験票について

試験日2日前までに、受験票ダウンロードの案内メールをお送りしますので、ダウンロード・印刷してください。受験票の郵送はしません。試験当日に必ず受験票を持参してください。
※受験票のダウンロードが試験日の2日前になってもできない場合はご連絡ください。

■病気・負傷・障がい等がある方の出願について

病気・負傷・障がい等があり、受験および修学に際して配慮を必要とする場合は、なるべく試験日の2か月前までにご相談ください。試験形態や希望する配慮内容によっては、希望どおりの配慮とならない場合もございます。また、希望する配慮事項や施設・設備の確認のため、本学にお越しいただく場合もあります。

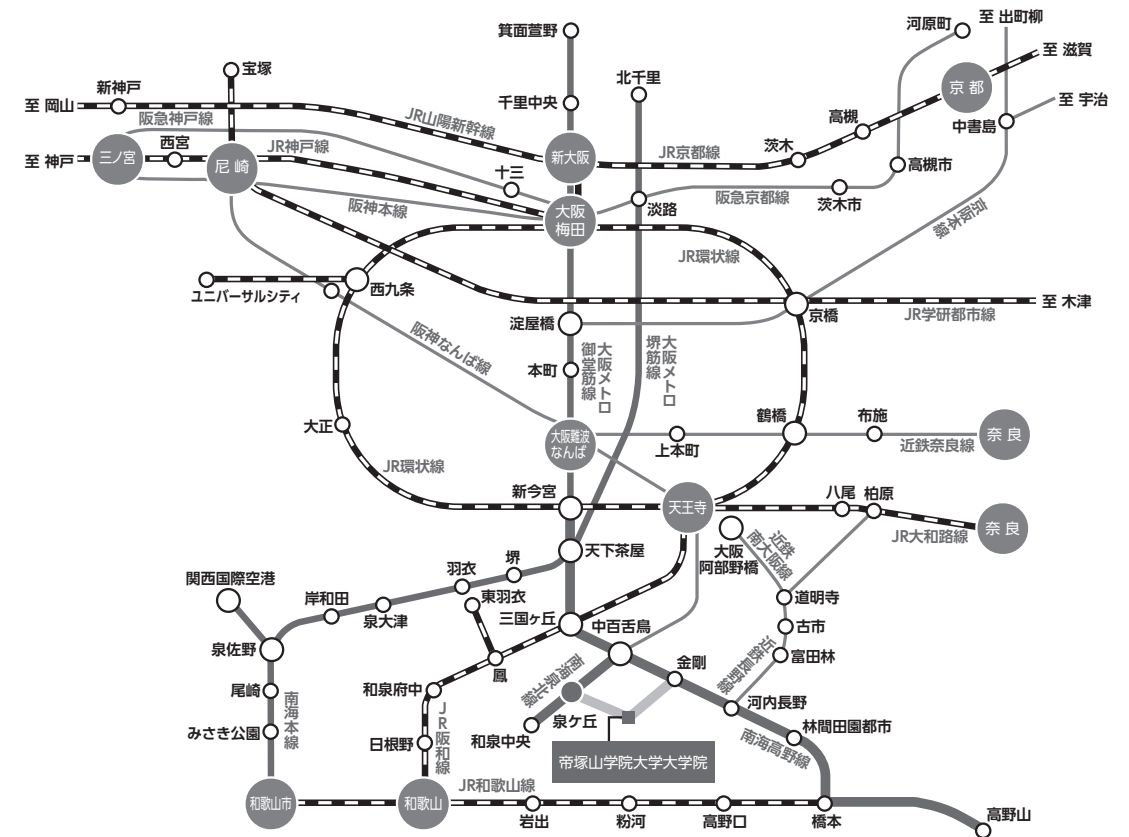
■試験会場

帝塚山学院大学大学院
〒590-0113 大阪府堺市南区晴美台4-2-2 TEL 072-290-0652

南海泉北線「泉ヶ丘」駅南側ターミナルから
●④・⑥番のりば(217・222系統)で約8分「はるみ小学校前(帝塚山学院大学前)」下車すぐ

南海高野線「金剛」駅西側ロータリーから*
●⑤番のりば(222系統)で約10分「はるみ小学校前(帝塚山学院大学前)」下車すぐ
●④番のりば(250系統)で約23分「槇塚台東」下車、約700m
※「金剛」駅からのバスは本数が非常に少ないのでご注意ください。

■路線図



■受験のための宿泊について

本学では宿泊施設の紹介・斡旋は原則おこなっていません。近くの旅行会社などをご利用のうえ、大阪市内の「難波」駅周辺・南海高野線「堺東」駅周辺または南海泉北線「泉ヶ丘」駅周辺で選びになると便利です。

■合格発表について

合格発表日当日の13:00に大学ホームページより合否を確認することができます。
合格発表日以降に合格通知書等を順次発送します。不合格者には郵送での通知はありません。
※合格の方には合格通知書と一緒に入学手続要項を発送しますので、所定の期日までに入学手続時納付金を振込み、書類を提出して手続を完了してください。
5日経っても届かない場合は、お問い合わせください。
※合格通知書等の郵送途上で生じた事故(紛失、個人情報の漏えい等)について本学では責任を負いかねます。
※入学試験を欠席した場合や受験科目不足の場合、不合格となります。
※電話・FAX・メール等での合否結果照合等はできません。

●合否の確認方法

以下のURLまたは2次元コードから本学ホームページにアクセスし、「合否結果」のバナーをクリックしてください。
受験番号と誕生月日(4桁)を入力してください。

<https://www.tezuka-gu.ac.jp/nyushi/>



合否速報サービス利用上の注意

- ・当サービスの「誤操作」「見間違い」等を理由とした、入学手続の遅れは認められません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多く、つながりにくい場合があります。その場合はしばらく経ってから再度操作をしてください。
- ・機材の性能や接続方法、ブラウザ設定などにより表示に時間がかかったり、文字化けが発生する場合があります。
- ・試験会場の外で合否発表に関する案内を本学教職員が行うことはありません。類似のサービスにはご注意ください。
- ・利用期間は各試験区分ごとに定めてあり、合格発表当日13:00～5日後の24:00までです。
※期間外は見ることができません。

入学手続・学費等

入学手続

入学手続の詳細は合格通知に同封します。
必ず期限内に手続を完了してください。期限までに手続を完了しないと入学資格を失います。
(入学手続完了者には、入学手続締切日以降に「入学手続完了通知」をお送りいたします。)

※入学手続後、やむを得ず入学を辞退される場合は、2027年3月25日(木)17:00までにお申し出ください。
入学金を除く納入金を返還いたします。
なお、入学手続後、入学を辞退される場合は、できる限り早く本学にご連絡ください。

学費その他納付金(2026年度実績)

【人間科学専攻】

	入学手続時 納付金	春学期納付金 (納付時期:5月末)	秋学期納付金 (納付時期:11月末)	初年度年間 納付金
入 学 金	200,000			200,000
授 業 料		290,000	290,000	580,000
教育充実費		60,000	60,000	120,000
実験実習費		20,000	20,000	40,000
総 額	200,000	370,000	370,000	940,000

◆入学後に納付いただくもの
・帝塚山学院大学 同窓会への同窓会終身会費…30,000円
※学費や諸費用は変更となることがあります
※南海バスの泉ヶ丘駅⇄大学(はるみ小学校前)、金剛駅⇄大学(はるみ小学校前)に乗車可能な帝塚山学院大学バス乗車証の販売をしております。

【臨床心理学専攻】

	入学手続時 納付金	春学期納付金 (納付時期:5月末)	秋学期納付金 (納付時期:11月末)	初年度年間 納付金
入 学 金	200,000			200,000
授 業 料		390,000	390,000	780,000
教育充実費		90,000	90,000	180,000
実験実習費		80,000	80,000	160,000
総 額	200,000	560,000	560,000	1,320,000

◆入学後に納付いただくもの
・帝塚山学院大学 同窓会への同窓会終身会費…30,000円
※学費や諸費用は変更となることがあります
※南海バスの泉ヶ丘駅⇄大学(はるみ小学校前)、金剛駅⇄大学(はるみ小学校前)に乗車可能な帝塚山学院大学バス乗車証の販売をしております。
※本学臨床心理学専攻(専門職学位課程)は、専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座となりました。

長期履修生制度

本学では、職業等に就きながら大学院で学ぶことを希望する社会人の方々の学習機会を拡大するため「長期履修生制度」を設けています。この制度は、職業を有している等の事情で、1年間で履修可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限され、通常の修業年限(2年間)で修了することが困難な方のための制度です。本人の申請に基づいて審査し、標準履修年限を超えての長期履修をあらかじめ認めることで、学生は計画的に課程を修了することが可能となり、各自の事情に合わせたペースで学位の取得を目指すことが可能になります。

奨学金およびスカラシップ制度

- (1) 日本学生支援機構(貸与)
- (2) 小野奨学会奨学金(給付)
- (3) 帝塚山学院大学奨学金(給付)・本学の学生のみを対象とした大学大学院独自の奨学金制度です。就学の熱意があり、学業成績が良好な学生に対し給付します。
- (4) ドミトリスカラシップ制度・大阪府以外の遠隔地から本学指定宿舎に居住する学生に年額10万円を援助する制度です。
- (5) TA(ティーチング・アシスタント)制度・本学学部の教育・研究に関連する補助的業務に参加した大学院生に報酬等を支給し、支援する方策を積極的に取り入れています。

[臨床心理学専攻]

- (6) 特待生制度・臨床心理士、公認心理師の資格取得を目指していること。入試当日の成績などその他条件を満たしている方に、授業料のうち、初年度のみ半額相当分を免除します。
- (7) 学外スーパーヴィジョンプログラム制度・学外の専門家から指導を受ける際に支払う指導料を一定額まで補助する制度です。

氏名について

- 氏名は、住民票に記載の氏名にあわせてください。出願必要書類は全て同じ氏名で統一してください。インターネット出願時に入力した氏名(漢字)は、学生証にも使用しますので誤りがないか確認をしてください。
※証明書に記載されている氏名から改姓・改名をした場合は、戸籍抄本を提出してください。
- 帝塚山学院大学内で使用可能な漢字は、JIS第1水準および第2水準のみとなります。
- インターネット出願では、JIS第1水準および第2水準以外の文字は入力できません。その場合は、表示可能な代替の文字等に置き換えてください。

例) 高→高、吉→吉、崎→崎、橋→橋、濱→濱または浜、Ⅲ(ローマ数字)→Ⅲ(アルファベットのアイを3つ)など

上記以外にも入力エラーとなった場合はJIS第1水準および第2水準以外となりますので、代替の文字(カタカナを含む)を入力してください。

- ◆ JIS第1水準および第2水準について(法務省)
ご自身の漢字を確認される場合には、「法務省 戸籍統一文字情報ページ」をご使用ください。
代替文字も確認することができます。
<https://houmukyoku.moj.go.jp/KOSEKIMOJIDB/MO1.html>

授業科目（人間科学専攻）

※カリキュラムは変更になる可能性があります。

人間科学専攻（修士課程）

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
基礎科目	人間科学概論	1	現代日本と国際社会の置かれた状況について、特に食を取り巻く問題との関連を視野に入れながら、生活の質を高めつつ地球環境に負荷をかけない生き方を考えていく。
専門科目（健康科学領域）	健康運動学特論	1・2	健康科学の分野で活躍できる実践的応用力を身につけたリーダーとなるために、健康の意義、運動の重要性について理解できるような講義にする。また運動と栄養の関係についても学び、健康的な栄養管理ができるような講義を行う。さらに口頭発表や学術論文の読み方、書き方について解説する。さらに、講義を通して、自分自身の弱点を把握し、克服しながらより高い専門知識を身につける。
	栄養生化学特論	1・2	栄養学とは、人は何をどれくらい食べれば健康でいられるのかを研究する学問であり、生化学は生物の仕組みを化学的に解明する学問である。すなわち、栄養生化学は、人は何をどれくらい食べれば健康でいられるのかを化学的に解き明かす学問である。本授業では、実際にどのような研究によって栄養生化学的仕組みが明らかにされていくのかを研究論文を通じて学習し、栄養生化学についての実践的な知識、考え方を身につける。
	公衆栄養学特論	1・2	日本人の食事摂取基準2015年版は、栄養のガイドラインである。食事摂取基準に記載されている栄養の指標を理解するとともに、食事摂取基準作成の背景にある科学的根拠に基づく栄養学(EBN:evidence-based nutrition)、栄養疫学の考え方を習得する。
	食品科学特論	1・2	健康科学の分野で活躍できる実践的応用力を身につけたリーダーとなるために、糖質、脂質、たんぱく質、ミネラル、ビタミンの食品学的意義、および糖質、脂質、たんぱく質、エネルギーの代謝について理解できるような講義にする。また食品素材の栄養成分特性、機能性、運動と栄養の関係、栄養摂取のアンバランスによって生じる弊害などについても学び、基礎的な栄養管理ができるような講義を行う。さらに口頭発表や学術論文の読み方、書き方について解説する。さらに、講義を通して、自分自身の弱点を把握し、克服しながらより高い専門知識を身につける。
	応用栄養学特論	1・2	栄養と食べ物、健康、食生活とのかかわりについて調べ、食生活を豊かにするためのスキルや工夫の方法を理解し、応用できる知識を身につける。日本人の食事摂取基準(2020年版)やライフサイクルアセスメントの考え方を身につける。
	食品保健・機能学特論	1・2	食品の衛生管理について、特に微生物による汚染・変質・食中毒の予防を中心に知識を授け、最新情報を収集し論議する。また、昨今では腸内フローラや機能性食品因子が健康に及ぼす影響について知見の進展が著しい。微生物や機能性食品因子の有効利用による健康増進の可能性について論じる。
	臨床栄養学特論	1・2	様々な疾病の原因、症状、臨床検査所見、診断と治療について概説する。そして、個々の疾病の成因、進展、治療と栄養学との関わりに関して理解を深め、適切な栄養管理(栄養マネジメント)を行うことが出来る能力を身につける。さらには、糖尿病、高血圧症、脂質異常症といった生活習慣病をはじめとする各種疾病の病態検査法、食事療法、運動療法、薬物療法について学び、検討する。
	給食経営管理学特論	1・2	給食経営管理について学術的に知識が深められるよう、実務を取り入れたマネジメントやマーケティング能力について学ぶ。給食経営管理で生じる課題事例を取り上げ、問題解決能力、指導能力を習得する。
	食生活経済学特論	1・2	家計消費に占める食料消費の低下が指摘されて久しい。こうした現象は、生活全体における食料消費の地位の低下のように言われる場合が多いが、果たしてそうなのか。食生活経済学特論では、家族共同の食料消費と家族個人の食料消費の2つの場面から食料消費を捉えることによって、食料消費に関する通説について議論すると共に、生活様式が大きく変動している現況下の食料消費の動向について検討する。
	栄養教育特論	1・2	行動変容を支援する栄養教育プログラム立案、実施、評価、フィードバック、ならびにわが国および諸外国の栄養教育政策・国際的動向に関連する分野の書籍、文献の発表、討論を通じて、栄養教育推進に必要なアプローチ方法・考え方を学ぶ。
	病態医学特論	1・2	幅広い領域の疾患個々における病態・検査・治療法について、その歴史の変遷を踏まえて最近の治療法について解説する。
	食品開発特論	1・2	世界の人口動態および社会環境の急激な変化に伴い、食品産業においては早急な解決が望まれる様々な課題が発生している。本講義では、これらの課題の解決およびビジネスの継続の両立を目指したイノベティブな開発を行うための施策や方法を考えていく。

人間科学専攻（修士課程）

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
専門科目（情報・認知科学領域）	システム工学特論	1	本講義では、複雑なシステムの設計・解析・最適化手法を体系的に学びます。特にソフトウェアシステムのアーキテクチャやコンポーネント間の相互作用を題材に、システムの動的挙動や全体性、階層性、整合性、適応性といった「システムの本質」について探求します。加えて、フレームワーク問題、モデル化、設計論的視点を通じて、実践的なシステム工学に対する見識を深めます。
	行動経済学特論	1	経済や産業社会の知識・基礎理論とともに、行動経済学について学びます。経済は産業社会の基本であり、経済学は“人間は合理的な経済活動を行なうこと”を前提としています。一方人間は非合理的な行動をし、これを明らかにしようとするのが行動経済学です。企業のマーケティング活動にも応用されている行動経済学の理論と実践について、事例を交えながら学修します。
	映像表現特論	1	映像を「情報伝達的手段」とであると同時に「感性と思考を媒介する創造的装置」として捉え直し、その構造と表現技法について理論的に探究する。デジタル技術の進展とともに多様化する映像メディアを対象とし、作品分析や事例研究を通じて、それらが生み出す知覚・意味・体験を読み解く視点を養う。あわせて、映像を通して社会や観客とどのような対話が可能かを考察し、受講者自身が批評的視点と創造的構想力をもって、新たな映像の可能性を提案することを目的とする。
	地域デザイン特論	1	地域の現状や課題を浮き彫りにし、解決のための手法や考え方を学び、多角的な視点で地域活性化について学びます。具体的には、地域システム、定量・定性による地域分析を踏まえて、他地域との差別化を図る観光によるまちづくりや地域イノベーションの考え方による地域産業の新生の取組などを題材に、地域デザイン(空間において、人やものをつなげ、仕組みを作ること)を考えていきます。
	情報デザイン特論	1	発信する情報を他者に正しく理解してもらうための、情報の表現の設計手法について学びます。実社会で実績がある情報デザイン事例を題材に、その表現の意図を理解した上で、「なぜその表現を答えたのか?」について分析することで、情報伝達を実現するために、何を考え、それをどのように表現に落とし込むべきかを見極める視点と、そうした情報デザインを自身でもできる力の養成を目指します。
	データサイエンス特論	1	本講義では、データの収集・整理・加工から解析・解釈に至る一連のプロセスを体系的に学ぶ。Rを用いた統計解析、多変量解析、回帰分析、因子分析などの主要手法を扱い、実習を通じて実践的に理解する。さらに、社会科学やビジネス領域での応用事例を取り上げ、データに基づく意思決定力を養成するとともに、将来的なビッグデータ活用やAIによる高度分析への展望も考察する。
	ソーシャルメディア特論	1	ソーシャルメディアなどのインターネット活用に必要なメディア発信力とコミュニケーション能力を高めるため、プロジェクト型学習を通して、ソーシャルメディアに関する専門知識を応用して現実の課題に取り組み、専門知識と実社会とのつながりを学ぶ。
	イメージ創造特論	1	情報文化のなかにあるイメージの創造について、美術史、芸術学、表象文化をもとに複合的に学び、その理解を深める。今日の情報文化のなかにあるイメージがどのように出現し、伝搬され、展開し、時代に応じた創造をもたらしているかについて、図像学、図像解釈学(イコノグラフィー)、美学芸術学、構造主義/ポスト構造主義を踏まえてクリティカルに読み解くとともに、イメージ創造の実践的な発想力を高めることを目指す。
	大脳生理学	1・2	脳のどのような働きが心の基盤となる情報処理を可能にしているのかについての基本的事項について解説する。神経科学で用いられている様々な研究方法や研究史および、脳と神経系の生理学的構造の基礎を解説する。
	脳科学概論	1・2	脳の生理学の基礎や脳に関する古典的研究や近年の研究動向を学習することを通じて、こころの現象の生物学的側面を理解する。具体的な研究成果や心理学で取り上げられている素材を基に、脳とさまざまな心理的現象の接点に迫る。
	認知発達科学	1・2	発達の基礎的事項を理解し、認知・思考の発達の基礎的事項を理解する。ヒトの発達の理解特に、認知・思考の発達に焦点化する。
	認知心理学特論	1・2	本講義では、認知心理学および認知科学に関する学問体系を解説する。その上で、認知心理学や認知科学の研究手法やこれまでの知見の活用方法、特に日常生活における実践的な活用方法について重点的に学ぶ。認知心理学および認知科学の最新動向を踏まえて、日常生活における人間の行動原理を理解できるようにする。
	人格心理学特論	1・2	パーソナリティあるいは行動の理解・アセスメント、さらに心理療法をはじめとする心理援助的介入に関わる現象理解のあり方、考え方を学んでもらうことを目的としている。①行動理解のパラダイム、②心理学、精神病理学におけるシステム論パラダイム、③関係モデルと心理的援助の3つのサブテーマについて説明する。
	産業心理学特論	1・2	産業場面に関わる心理学の活用について実践的に解説する。特に心理学で得られた知見や手法が産業場面でどのように役立てられているかに重点を置く。
生涯発達学特論	1・2	ライフ・サイクル論的な展望をもとに、乳児期から老年期にいたるまでのそれぞれの時期に特徴的な心理的課題と臨床的問題について検討する。認知発達については定型発達だけでなく、発達障害を中心とした近年の研究を取り上げる。	
教育心理学特論	1・2	発達の特徴を生態学的観点から理解するとともに、学習過程に関して、オペラント行動や強化、学習の基礎理論、記憶過程の特徴、学習の自己制御の幾つかの側面について説明する。	

人間科学専攻（修士課程）

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
専門科目（情報・認知科学領域）	発達障害特論	1・2	自閉症スペクトラム障害・注意欠陥多動性障害・学習障害などの各論について学び、医療／教育／福祉の各領域での実習経験を基にディスカッションを行う。
	社会心理学特論	1・2	社会心理学は、自己や態度といった個人の内的な過程、友人関係や恋愛関係といった対人関係、さらには会社組織などの集団、大衆という社会を幅広く研究の対象としている。本講義では、個人・対人関係・集団〔組織・社会〕というさまざまな単位を取り上げ、幅広く社会に生きる人間の置く心理を考える。自分とは何か、相手に自分の気持ちをどのように伝えることができるか、集団のなかで自分をどのように表現できるか、流行とは何か、文化を理解するにはどのような方法があるかといったテーマを取り上げながら、最新の研究から人間の社会的行動を理解してゆく。
	心理統計法特論	1・2	統計手法の紹介と解説を講義し、統計解析ソフトウェア(SPSS)を使用したデータ解析を演習する。
	神経心理学特論	1・2	健常な認知発達の諸相について解説し、その後、学習障害(LD)や注意欠陥／多動性障害(ADHD)などの障害児の行動特性について講義する。それらの障害に対する神経心理学的検査法やソフトサイン検査法を紹介する。
演習・指導科目	応用栄養学演習	1・2	演習形式で行う。食行動や食生態学、食習慣などについて情報を収集し、食生活の問題点を統計的手法により見いだす。そしてどのように解決するか。ポスターの作成や、指導法を考案する。
	公衆栄養学演習	1・2	食べ物と健康の関係は大変密着しているが、科学的な根拠が必ずしも十分とはいえない問題も多い。健康にとって至適な血中コレステロール値一つとっても変遷し議論が続いている。食塩と高血圧の問題、肥満解消にエネルギー制限か糖質制限かなど未解決の課題が多い。論文、データを読みとく力をつける。
	食品保健・食品科学演習	1・2	研究が足踏みした際に困難を突破する力を養成するために、指導教員がこれまでに発表した研究の中で直面した課題を提示し、解決策を考案させる。
	臨床栄養学演習	1・2	NSTを中心とする臨床栄養管理は低栄養や高度侵襲下における患者の治療効果の向上に多大な貢献をしている。このNSTで活動できる臨床管理栄養士を育成することを目指し演習を進める。
	認知科学演習	1・2	本講義では、認知科学領域に関する学問体系を解説する。その上で、認知科学の研究手法やこれまでの知見の活用方法、特に日常生活における実践的な活用方法と研究手法について重点的に学ぶ。認知科学領域の最新動向を踏まえて、日常生活における人間の行動原理を実践的に理解できるようになる。
	発達科学実践演習	1・2	発達科学分野の最新の知見と研究について理解し、自らの研究テーマなど、研究計画を検討する。
	情報実践演習A	1	心理学・認知科学の知見と情報技術を基盤として、人の感性や行動を踏まえたデジタル表現や社会実装を行う実践的演習科目である。インタラクティブコンテンツ、メディア表現、情報システムなどの制作を通して、人間中心のデザインや創造的表現の方法を学ぶ。社会や地域の課題をテーマに、試作・評価・改善のプロセスを繰り返しながら成果物を制作し、その成果を発表する。これらの活動を通して、研究成果を社会へ発信・還元するための創造的実践力と応用力を養う。
	情報実践演習B	1	情報技術と心理学的視点を融合し、人間の行動や認知、感性に関するデータを科学的に分析する実践的演習科目である。社会や地域における課題を題材に、データ収集、実験設計、統計解析、情報処理技術などを活用しながら、問題の構造を理解し解決策を導くプロセスを学ぶ。学生は主体的に課題を設定し、計画の立案から分析・考察までを実践することで、人間科学領域における自律的な研究能力と科学的探究力を養う。
	特別研究	1・2	本研究では、指導教員と相談の上、人間科学に関わる修士論文のテーマを決める。研究テーマについては文献調査に基づいて研究計画を策定する。研究計画に基づいて実験や調査等を行い、得られたデータを分析した上で自身の考察を含めて発表し、修士論文として研究成果をまとめる。

授業科目（臨床心理学専攻）

※カリキュラムは変更になる可能性があります。

臨床心理学専攻（専門職学位課程）

	授業科目名	配当年次	講義等の内容	
臨床心理学基幹科目	臨床心理学原論演習Ⅰ	1	心理臨床・心理的援助の基礎的素養を身につけるために必要な、理論・知識・態度を習得する。臨床心理学成立の歴史的背景、臨床心理学の独自性、心理面接における面接構造論、病態水準論、事例研究の意義と問題点、心理療法の諸理論・諸技法、心理的支援を行ううえで見立ての重要性と倫理観などを学ぶ。	
	臨床心理学原論演習Ⅱ	1	初めに、専門職として通用する自己研鑽の態度について振り返り、本授業でもその方向性で進行することを確認する。次に、あらゆる対人援助職に必要なメンタライゼーションについて理論的に把握し、理論を実践に生かす視点を獲得する。第3に、発達的な観点を臨床実践に生かすための糸口について概説し、各々が今後理論的に学びを深める入口を作る援助をする。特に、近年の精神分析の動向や早期発達の重要性について説明する。認知、情動、神経科学等、異なった視点を相互につなげる試みを行う。そして、対人援助職について、専門職に就きたいと考えた動機や、実践場面で自身の心身の健康をどう維持するかについて検討する。ここでは、「傷ついた癒し手」の概念を入口とする。そして最後に、心理臨床専門職としてのアイデンティティの確立、心理アセスメント、心理療法のルールやプロセス、様々な援助施設における心理臨床の実際など、心理専門職が学んでおくべき基本事項を確認する。	
	臨床心理査定学演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	1	春学期は心理査定技法のなかでも質問紙法、描画法、言語連想検査、およびロールシャッハ・テストを重点的に取り上げ、その理論と実践について学ぶ。心理査定技法を「用いる」ことのみならず、「読み取る」こと、「伝える」ことなどについても多面的かつ体験的に学んでゆく。心理査定について学ぶことを通して、心理臨床全般に関する理解を深める。	
	臨床心理査定学演習Ⅱ	1	院生自らがテストバッテリーを組んで施行した心理査定をもとに記録を作成し、査定事例を報告し、授業内にディスカッションを行う。そして、心理査定結果から人物像や心理的課題を汲み取り解釈を検討し、総合的所見をまとめあげていくまでのプロセスを実践的に学ぶ。	
	臨床心理査定学実習Ⅰ（心理実践実習）	1	各種検査について、現場に役立つ所見作成力ならびに総合的査定力を獲得するために、各検査についての実践実習を重ねる。心理的査定についての基本事項を確認した上で、学内で各検査実習を行う。さらに所見作成について検討する。	
	臨床心理査定学実習Ⅱ（心理実践実習）	2	各心理検査やテストバッテリーについての考察を深めるために、臨床心理士・公認心理師としての心理査定力を獲得する。各実習機関の特性に応じたテストバッテリーに基づいた心理査定を実習する。さらに、実習機関に応じた所見作成の仕方、検査所見のフィードバックについて個別指導を行いディスカッションを重ねる。	
	臨床心理面接学演習Ⅰ	1	臨床心理面接を行う上での基本的態度を身につけるために、臨床心理面接場面・プレイセラピー場面の実際をロールプレイを通して体験的に学ぶ。初回面接のロールプレイを二人一組でクライアント役とセラピスト役となり、最初の出会いから今後の面接の約束に至るまでの全過程を行う。	
	臨床心理面接学演習Ⅱ	1	本授業では、初回面接のロールプレイを実際の臨床場面と同時間(50分間)行う。討論では、来談者の立場、面接者の立場からの振り返りや気づきとともに、ロールプレイを見守っていた他の参加者による感想・意見の共有を通して、初回面接のあり方や個別事例を理解する観点などが全員が検討される。こうしたディスカッションの積み重ねは、臨床心理面接を行う上での基本的態度の養成に直結するものである。	
	臨床心理面接学実習Ⅰ	1	本学の心理教育相談センターにおける基本的な実習活動を行う。前半では、心理教育相談センターにおいて、相談申込みされた事例を実際に担当するために必要な事前実習および具体的な準備を行う。後半では、インテーク面接に陪席しインテーク報告を作成する。また、実際の臨床事例の担当を開始し心理面接や心理査定を行う。臨床実践における事前準備および事後の振り返り、各セッションにおける見立て・心理支援体制・方針の検討を行う。スーパーヴィジョン、ケースの引継ぎについて基本姿勢を学び理解を深める。	
	臨床心理面接学実習Ⅱ（心理実践実習）	2	本学の心理教育相談センターにおいて臨床心理実践を行う。臨床事例を担当し、心理教育相談センターの組織、運営、安全管理、面接の基本的な進め方、記録の作成や保管の仕方、ケース報告書のまとめ方や発表の仕方、面接室および備品の管理、トラブルへの対処法等、実際に業務を担当する上で必要とされる知識、態度、考え方などについて体験的に学ぶ。	
	臨床心理学展開科目	臨床心理地域援助学演習Ⅰ	1	医療／保健、教育、福祉、司法・産業各分野における心理支援の実際について、臨床例(学外実習事例や教員自験例)を示しながらグループ討議を重ねる。各分野における臨床心理士・公認心理師の役割、心理に関する支援を要する者やその関係者に関する知識及び技能の習得、多職種連携および地域連携、職業倫理および法的義務を理解するため、全体討議を通じて各自の考察を深める。
		臨床心理地域援助学演習Ⅱ	1	臨床心理地域援助学演習Ⅰの内容をさらに深める。医療／保健、教育、福祉、司法・産業各分野における心理支援の実際について、臨床例(学外実習事例や教員自験例)を示しながらグループ討議を重ねる。さらに、全体討議を通じて各自の考察を深める。

臨床心理学専攻（専門職学位課程）

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
臨床心理学 展開科目	臨床心理地域援助学実習Ⅰ (心理実践実習)	1	教育分野における臨床心理士・公認心理師としての基本的な知識と技術、ならびに多職種・地域連携の視点を踏まえた基本的実践力を習得するための臨床実践を行う。教育分野の各機関ごとの特徴を学ぶと共に、小学校でのケース担当実習と、教育センターでの見学実習と共に教員による事前・事後指導を行う。
	臨床心理地域援助学実習Ⅱ (心理実践実習)	1	保健／医療分野、福祉、司法、産業(就労支援)分野の各機関ごとの特徴を学ぶ。精神病院、精神科クリニック、大学病院心療内科、総合病院心療内科、総合病院小児科発達障害専門機関、保健センター、知的障害者施設、母子支援施設、少年院、鑑別所、就労支援機関の心理実践実習と共に、実習記録を元にした事前事後指導を行う。
	臨床心理地域援助学実習Ⅲ (心理実践実習)	2	教育分野における臨床心理士・公認心理師として、より高度な知識と技術の獲得ならびに多職種・地域連携の視点を踏まえたより高度な実践力を獲得するため、教育分野における心理実践実習と、教員による事前事後指導を行う。
	臨床心理地域援助学実習Ⅳ (心理実践実習)	2	保健／医療、福祉または産業分野における臨床心理士・公認心理師として、より高度な知識と技術の獲得ならびに多職種・地域連携の視点を踏まえたより高度な実践力を獲得するため、保健／医療、福祉または産業分野いずれかの機関における心理実践実習と、教員による事前事後指導を行う。
	臨床心理事例研究演習Ⅰ	1	臨床心理事例のまとめ方、事例研究についての理解を深め、事例研究論文を作成するために必要な知識を身につける。臨床事例を理解するための基本について、事例研究論文の抄読や、インタビュー報告書および事例報告書を作成しながら体験的に学ぶ。
	臨床心理事例研究演習Ⅱ	2	個人または少人数での心理臨床スーパーヴィジョンや助言・指導等により、学生のケース理解を深め、心理療法のあり方等について十分な検討を行う。最終的にその成果を事例研究論文(レポート)として結実させる。
	総合的事例研究演習Ⅰ	1	大学附属心理教育相談センターにおける事例についての事例検討会を行う。検討にあたっては心理臨床に関する科目の学習経験の総力をあげて取り組む。心理臨床に関するあらゆる問題が取り上げられ、クライアントの状況だけでなく、カウンセラーのありよう、関係性の問題なども含めて具体的に討議される。ケースは病院、学校、他の相談機関からの紹介、直接申し込みなど多様である。したがってとりあげる問題も多領域にわたる。
	総合的事例研究演習Ⅱ	2	大学附属心理教育相談センターにおける事例についての事例検討会を行う。検討にあたっては心理臨床に関する科目の学習経験の総力をあげて取り組む。心理臨床に関するあらゆる問題が取り上げられ、クライアントの状況だけでなく、カウンセラーのありよう、関係性の問題なども含めて具体的に討議される。ケースは病院、学校、他の相談機関からの紹介、直接申し込みなど多様である。したがってとりあげる問題も多領域にわたる。総合的事例研究演習Ⅰでの学びをさらに深める。
	臨床心理関連行政論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1	心理臨床業務を実践するために必要とされる関連諸機関の法律・行政的事項を学習し、各機関における心理臨床業務の機能と倫理的問題等について具体的に検討する。
	選択科目(特修科目を含む)	認知心理学特論	1・2
社会心理学特論		1・2	社会心理学は、自己や態度といった個人の内的な過程、友人関係や恋愛関係といった対人関係、さらには会社組織などの集団、大衆という社会を幅広く研究の対象としている。本講義では、個人・対人関係・集団[組織・社会]というさまざまな単位を取り上げ、幅広く社会に生きる人間の置く同心理を考える。最新の研究から人間の社会的行動を理解してゆく。
人格心理学特論		1・2	パーソナリティあるいは行動の理解・アセスメント、さらに心理療法をはじめとする心理援助的介入に関わる現象理解のあり方、考え方を学んでもらうことを目的としている。授業概要としては、Ⅰ.行動理解のパラダイム、Ⅱ.心理学、精神病理学におけるシステム論パラダイム、Ⅲ.関係モデルと心理的援助の3つのサブテーマのもとに、パーソナリティや行動の理解、心理的援助活動に関わる幾つかの基本的な見方、考え方について、文献の講読、事例紹介も含めながら、説明する。
心理統計法特論		1・2	臨床心理士・公認心理師として、論文を読んだり、実際に解析を行うことのできる能力を養い、研究の読解に必要な統計学の基本を理解し、データ解析の技術を習得する。統計分析の基本となる記述統計から心理学研究で多用される多変量解析(回帰分析、因子分析など)を講義する。
臨床精神医学 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)		1・2	精神医療における臨床心理士・公認心理師の役割を理解するために、現代の精神医学の全体像についての知識を得る。精神医療の現場において臨床心理士・公認心理師としての役割を十分に果たすことができるように、精神医学全体と各精神疾患およびその治療についての十分な知識と理解を得ることを目的とした体系的な講義である。
生涯発達学特論		1・2	ライフ・サイクル論的な展望のもとに、乳児期から老年期にいたるまでのそれぞれの時期に特徴的な心理的課題と臨床的問題について検討する。認知的発達と情緒的発達の両面にわたって、現代の発達心理学の基本的な文献に触れ、現代的な問題を理論的に整理する一方、臨床場面で遭遇する問題を想定しつつ、ディスカッションも行う。

臨床心理学専攻（専門職学位課程）

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
選択科目(特修科目を含む)	学校臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	1・2	学校臨床心理学について、心理臨床実践的視点で包括的に学び、教育分野における様々な心理的課題解決のために必要な知識や方策を身につける。この授業では、現代の社会状況を踏まえて、学校教育分野における、「いじめ」「不登校」「不適応」等の心理臨床的課題を取り上げ、その本質的理解と「見立て」や「チーム学校」として専門機関との連携や校内指導支援やその体制について、心理専門職としての活動を考える。
	犯罪心理臨床論	1・2	犯罪や非行に関心を持つ人は多いが、その心理支援のねらいや内容については、専門家の間でも正しく理解されているとは言い難い現状がある。本授業では、犯罪・非行に関わる社会システムを概観するとともに、心理臨床理論における代表的な犯罪行動理解を取り上げることで、司法・犯罪分野における支援の心理的役割を理解し、犯罪心理臨床の意義と課題について考えていく。
	心身医学 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1・2	医療における公認心理師・臨床心理士の役割を学ぶために、心身医学とチーム医療の実際についての知識を深める。小児科(小児心身症・小児神経)、児童精神科、内科(心療内科)、緩和ケア科において、公認心理師/臨床心理士に必要な医学的知識と共に、チーム医療における公認心理師/臨床心理士の役割を、臨床的・理論的に学ぶ。
	家族療法特論 (家族関係集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2	将来の公認心理師としての実践業務のために、個人の心的内界の理解や介入を超える、個人を取り巻く家族関係や対人関係がどう症状や問題を構成しているかという認識論と、それにともなう心理的介入支援論を学ぶ。家族(システム)療法の基礎を学ぶ。家族療法を踏まえた統合的アプローチについて学ぶ。個人・家族・コミュニティ等の関係性システムを踏まえた心理支援について考える。
	発達障害特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	1・2	さまざまな臨床場面で出会う発達障害児(者)の支援を行うために、発達障害についての基礎的な知識を身につけ、支援の実際を学ぶ。自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症等の発達障害の各論について学びを深める。各現場で必要な専門的なアセスメント、心理学的支援の方法、発達障害に関する法律や制度を理解し、多職種と協働しながら実践的に活動する力を身につける。
	認知行動療法特論 (心理支援に関する理論と実践)	1・2	公認心理師として必要とされる心理的支援、心理療法的アプローチ、多職種連携について学ぶ。行動理論、認知理論、認知行動療法の基礎を学ぶ。また、特定の精神疾患、神経発達症群に対するケースフォーミュレーション、認知行動療法によるアプローチを中心として実践を学ぶ。
	産業心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	1・2	産業・労働分野で心理職として実践するために必要な基本的知識を習得し、この分野での心理的支援について多面的な視点から考える態度を身につける。本授業では、キャリアの考え方やキャリア発達に関する基礎的な知識を学び、働く人々の心の理解について、文献による事例検討や実習・ロールプレイを通じて理解を深める。また、産業・労働分野における労働法規や施策に関する基本的な知識を学び、心理教育やハラスメント対応、職場復帰支援、障害者の就労支援、失業者の再就職支援など、現代の課題に求められる心理的支援についても理解を深める。
	健康心理学特論 (心の健康教育に関する理論と実践)	1・2	本科目は公認心理師が業務を行う主要な領域の一つ「保健医療」に関するものである。本講義を通じて、心理臨床家として人々の健康の維持・増進に寄与するための心理学的な理論や支援の実際などについて学ぶ。健康心理学は、人の健康問題に関連する現象全般を取り扱う心理学の一分野である。人々の健康の維持・増進、疾病予防、QOLの向上などが主たるテーマとなり、生涯発達における全ステージにある人々が対象となる。
	臨床実践事例特修科目Ⅰ	1・2	高度な専門性をそなえた心理臨床実践を行うために、学びを深める必要がある領域に対して、事例研究を重ねるための科目である。(具体的な授業内容は、担当講師により異なる)
	臨床実践事例特修科目Ⅱ	1・2	高度な専門性をそなえた心理臨床実践を行うために、学びを深める必要がある領域に対して、事例研究を重ねるための科目である。(具体的な授業内容は、担当講師により異なる)
自由科目	臨床実践技能特修科目Ⅰ	1・2	高度な専門性をそなえた心理臨床実践を行うために、学びを深める必要がある領域に対して、高度な実践的な技能、面接技法や査定技法(特に投影法)を習得するための科目である。(具体的な授業内容は、担当講師により異なる)
	臨床実践技能特修科目Ⅱ	1・2	高度な専門性をそなえた心理臨床実践を行うために、学びを深める必要がある領域に対して、高度な実践的な技能、面接技法や査定技法(特に投影法)を習得するための科目である。(具体的な授業内容は、担当講師により異なる)
	臨床心理学特別演習Ⅰ	2	臨床心理専門職を目指すにあたり不可欠な知識・臨床姿勢・事例理解の定着を目的とする。臨床心理専門職(臨床心理士・公認心理師)に求められる基礎的理論・各領域の知識を、臨床実践とつなげながら、講義・問題演習・グループ討議などの授業形態において総合的に学ぶ。特に基礎的な内容を取り扱う。
	臨床心理学特別演習Ⅱ	2	臨床心理専門職を目指すにあたり不可欠な知識・臨床姿勢・事例理解の定着を目的とする。臨床心理専門職(臨床心理士・公認心理師)に求められる基礎的理論・各領域の知識を、臨床実践とつなげながら、講義・問題演習・グループ討議などの授業形態において総合的に学ぶ。特に応用的・実践的な内容を取り扱う。

臨床心理学専攻の資格取得

臨床心理士受験資格

公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の「臨床心理士資格審査規程」に「学校教育法に基づく大学院において、臨床心理学又はそれに準ずる心理臨床に関する分野を専攻する専門職学位課程を修了した者」と規定されており、本学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻（専門職学位課程）は、「臨床心理士」資格試験の資格審査を受けることができる課程です。したがって、本専攻修了者は、臨床心理士資格認定試験の受験資格が取得できます。

国家資格 公認心理師試験受験資格

公認心理師は、心理援助に関わる国家資格です。公認心理師資格を取得するためには、一般財団法人日本心理研修センターが実施するマーク試験方式による公認心理師試験に合格する必要があります。履修規定に定められた科目を修得した本専攻修了者は、公認心理師試験受験資格が取得できます。（大学院入学前に4年制大学において法令で定める科目を修得している必要があります。）